

石川県:外国人介護人材 『日本語能力向上支援』補助金

25.05.13

石川県では、業界団体等※1,2が会員企業で働く外国人労働者に対して実施する日本語教育にかかる各種費用を補助します。

日本語教育の経験が少ない業界団体等でも安心してご活用いただけるよう、日本語教育に精通したアドバイザーがカリキュラムの作成などを支援しますので、ぜひご活用ください。

県内業界団体等の皆様へ

外国人労働者日本語能力向上 支援補助金のご案内

石川県では、業界団体等が会員企業で働く外国人労働者に対して実施する、日本語教育にかかる各種費用を補助します。

本補助金の活用にあたっては、事業開始の1か月前までに事業計画書提出による事前相談が必要です！



事前相談 受付期間	令和7年6月2日(月)～令和7年12月31日(水)
補助要件	<ul style="list-style-type: none">・石川県内に所在する事業所に常時勤務する外国人労働者に対して行うものであること・就労可能な留資格(「技術・人文知識・国際業務」「特定技能」「技能実習」など)を保有する外国人労働者に対して実施するものであること・受講者の語学レベルに応じたカリキュラムを提供すること・受講者から費用を徴収しない事業であること・国又は他の地方公共団体等が実施する他の補助金等の対象事業となっていないこと・令和8年2月末までに完了するものであること 等
補助対象 経費	<ul style="list-style-type: none">・講師謝金・旅費・会場使用料・消耗品費 等
補助金額	<ul style="list-style-type: none">・補助対象経費の1/2以内・1団体100万円まで <small>※地方税及び消費税を除く、千円未満切り捨て</small>

アドバイザーによる日本語講座等の開催支援を行います！

外国人労働者向け日本語教育の経験が少ない業界団体様に対し、カリキュラムの作成や講師の選定など、日本語教育に精通したアドバイザーが無料で支援します。ぜひご活用ください。

お問い合わせ・相談先
ILAC外国人労働者日本語能力向上支援補助金担当
(石川県労働企画課内)

電話番号
076-225-1672
メールアドレス
e191300a@pref.ishikawa.lg.jp

申請様式等はこちらからダウンロードしてください
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/roudou/gaikokujinza/nihongojyo.html>



<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/gaikokujin/>

北國新聞: 金沢のホテル価格が高騰 —外国人客増・円安で『1室5万円』

25.05.02

金沢市内のホテルで大型連休(ゴールデンウィーク)の宿泊料金が高騰している。ビジネスホテルの中には、通常の休日の3倍近い値段設定も見受けられ、1室5万円と高級ホテル並みになっているところもある。国内の観光客から「気軽に金沢に行けなくなる」と懸念する声が聞かれる一方、円安を背景にインバウンド需要は勢いが止まらず、宿泊者の70%が外国人というホテルも出ている。

石川県のまとめでは、昨年の県内の外国人延べ宿泊者数は110万6千人と過去最多を突破。観光庁の宿泊旅行統計でも今年1月の外国人宿泊者は前年の約2倍となり、右肩上がりで上昇している。

同ホテルでもインバウンドの獲得に力を入れており、4月の宿泊者に占める比率は67%と、昨年の36%から大幅に上昇した。円安の影響で高めの料金設定でも支払う外国人客は多く、担当者は「値下げ合戦はせず、ホテルのサービスと付加価値を打ち出していきたい」と話した。



花見外国客でてこ入れ 石川、富山のホテル 国内客の低迷補う 料理、SNSで誘客

25.03.18

花見シーズンを控え、石川、富山のホテルでインバウンド(訪日客)の予約が好調となっている。3月下旬から4月上旬にかけて欧米の団体客を中心に申し込みが相次ぎ、4月の予約の半数以上を外国人客が占めるホテルも。能登半島地震の影響で和倉温泉を訪れるツアーが減り、国内客が伸び悩む傾向もみられる中、各ホテルは外国人が好む料理を用意したり、SNS(交流サイト)の発信に力を入れたりして、てこ入れを図る。

情報会社「ウェザーニューズ」によると、金沢市では4月2日に桜が開花、同8日に満開を見込む。金沢東急ホテルは29日や4月5日の予約がほぼ満室。欧米からの団体客が多く、担当者は「4月は宿泊客のうちインバウンドが6割を超えてきそうだ」と驚いた表情を見せた。ホテルでは16日から、海外客が好むステーキディナーの提供を始めた。



予約の電話に対応するフロントスタッフ＝金沢市内のホテル

<https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/1688506>

能登地震の影響で仕事を失った技能実習生に救済を！ 「資格外活動許可」で新しい職場で勤務可能に

2025.02.21

石川県内には昨年6月末の時点で4,637人の技能実習生と2,019人の特定技能外国人が登録されており、彼らは地元の漁業や縫製工場などで働いています。新措置により、これらの労働者は1日8時間以内の勤務を条件に「資格外活動許可」を与えられ、新たな職場での就労が可能となり、3ヶ月間の就労許可が与えられることになりました。



外国人実習生に防災講座 石川、地震教訓に始動

2025.01.16

災害時、言葉や文化の違いからさまざまなリスクに直面する外国人。災害が発生したときの対応を学んでもらおうと石川県内に住む外国人らを対象に防災講座が開かれました。津幡町で行われた防災講座。参加したのは石川県内の企業に在籍する外国人の技能実習生です。「言葉が伝えられるように多言語音声翻訳アプリというのがあります」「避難所に行ったときにすごく助けになると思います」去年の能登半島地震を受け、県内に住む外国人たちに向けて、今回初めて石川県などが開いた講座です。災害時にとるべき行動やハザードマップで避難場所などを確認し、非常食の作り方も学びました。



技能実習生、来日前に訓練 白山の配管業、バングラに学校 受け入れ企業の負担減へ、座学や基礎習得

2025.04.02

設立の背景: 同社は2018年からベトナムやバングラデシュの実習生を受け入れてきましたが、言葉の壁による指導の難しさを実感していました。事業内容: 現地法人「Crossway Japan」を設立し、来日前に日本語や配管の基礎技術、安全教育などの座学を指導します。

企業のメリット: 基礎を習得した状態で来日するため、受け入れ企業の教育負担が大幅に軽減され、即戦力に近い形での採用が可能になります。初の試み: 日本の配管業者が海外に直接教育目的の訓練校を設けるのは、極めて珍しい取り組みです。



石川県の外国人労働者採用促進セミナーの様子が テレビ金沢で取り上げられました

2025.08.12

弊社代表の浅海が今年度より石川県庁の実施する業界団体向け日本語能力向上事業のアドバイザーに就任し、この活動の一環として外国人労働者採用促進セミナーの講師を務めました。

「実践!外国人社員の日本語力マネジメント～採用・定着を左右する日本語レベルの見極め方～」と題したセミナーでは、外国人材の日本語力を見極めるための面接の仕方などを中心に講義を行い、石川県内企業の採用担当の皆さまに意欲的にご参加いただきました。



出典:<https://naiteibridge.com/ishikawa-news/>

石川県金沢市家具製作職種で技能実習生2名の 雇用契約が決定しました！

2025.06.24

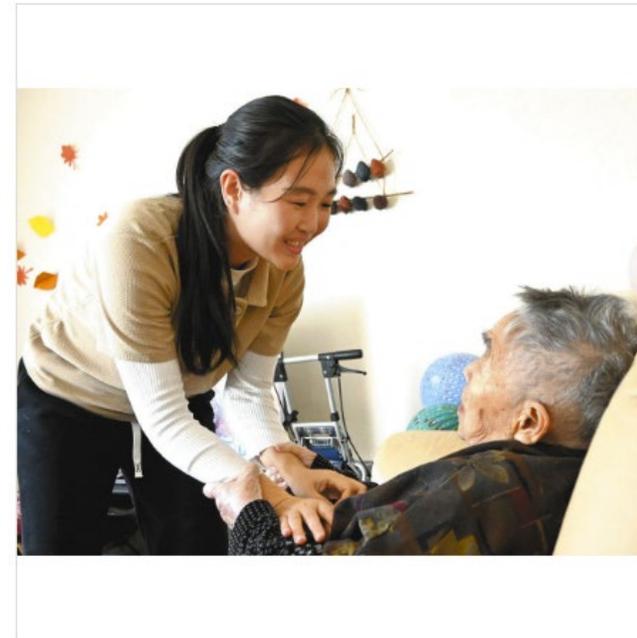
技能実習生を送り出したのは、バングラデシュ送出国機関ADSEC。日本の木工技術を習得し、将来に活かしたいという熱意ある若者たちです。面接には、日本語能力試験（JLPT）N5にすでに合格し、現在N4を勉強中の学生が同席。面接時点で基本的な会話が可能であり、受入企業からも高い評価をいただきました。弊社では、実習生の入国までに約5カ月の期間を確保し、自社日本語学校にてJFTA2（JLPT N4相当）コースを実施しています。このコースを修了することで、実習生たちはN3レベルの日本語会話を身につけ、職場での円滑なコミュニケーションが可能になります。



第4部 誰も取り残さない 外国介護人材 頼みの綱 実習生応援 地域に根を

2025.11.23

石川県輪島市の認知症グループホーム「ひなたぼっこ」で、ベトナム出身のチャン・ティ・カム・フィンさん（23）が、入所者の女性に優しい口調で話しかけた。夫のカオ・ニャット・ハオさん（23）と共に10月上旬、特定技能の在留資格で来日したばかり。夫婦2人で市内で暮らしながら働き始めた。80代以上の男女18人が生活する「ひなたぼっこ」で外国人材を受け入れたのは初めて。施設は能登半島地震後に同県かほく市に集団避難。奥能登豪雨で再び被災した後は約8カ月にわたって別の高齢者施設を間借りし、今年5月に元の場所に戻った。この間、家庭の事情などで約20人いた職員の半数が施設を去った。



入所者に話しかけるチャン・ティ・カム・フィンさん
＝石川県輪島市の「ひなたぼっこ」で（上田千秋撮影）

日本語学習 求む支援者 外国人割合 県内最大の能美市 国際交流協の養成講座 人手不足で受講呼びかけ

2025.11.05

能美市国際交流協会の日本語教室で外国出身者に日本語を教えるサポーターが不足している。市内には留学生の多い北陸先端科学技術大学院大があり、今後も外国人は増えてさらにサポーターが必要になるとみられる。協会の担当者は来年度に予定するサポーター養成講座の受講を呼びかけている。（松村裕子）

同市寺井町の協会事務所で10月22日夜に開かれた日本語教室。8人のサポーターが外国出身者約10人とペアやグループになり、テキストで日本語能力試験の受験勉強を手伝った。日常会話はスマートフォンで絵や写真を見せて教えた。



外国出身者がサポーターと学ぶ日本語教室。サポーターが不足している＝能美市寺井町で

出典:https://www.chunichi.co.jp/article_photo/list?article_id=1159308&pid=6511075

増築工事中の“動物病院”で火事 インドネシア国籍の技能実習生が死亡

2025.04.16

金沢市で増築工事をしていた動物病院を半焼した火事で、死亡したのはインドネシア国籍の技能実習生だったことが分かりました。火事は15日午後1時10分ごろ、増築工事をしてきた金沢市菊川1丁目の「ヒロ動物病院」から火が出て木造2階建ての建物を半焼し男性1人が死亡したものです。警察によりますと、死亡したのは石川県白山市幸明町の技能実習生でインドネシア国籍のアルフィリヤンシャーさん21歳と分かりました。実況見分の結果、火元は増築中だった建物1階の天井裏で、警察によりますと、当時、アルフィさんは電動ドリルを使い配管工事を行っていて、その際に火花が散り、建物に燃え広がった可能性が高いということです。出火当時、現場では7人で作業に当たっていたほかの6人は逃げ出し無事でした。



九州から石川・輪島市に移住 大分出身の山路健造さん 被災地で外国人と地域を結ぶ 「能登の未来照らす光に」 本紙記者から転身 原点はフィリピンでの「外国人体験」



2025.10.24

昨年の能登半島地震と豪雨で甚大な被害を受けた石川県輪島市に九州から単身で移住し、外国人住民を支援する男性がいる。大分市出身で、佐賀市で国際交流に取り組んできた山路健造さん（40）。外国人住民は孤立しがちで、被災地は急速に高齢化が進む。

出典：<https://www.nishinippon.co.jp/item/1415328/>